

工法・新製品紹介

SANWA
スーパーオーガ
SA-SMD-240H型が誕生!

スーパーオーガSA-SMD-240H型は、インバータを組み合わせることによってスクリー回転速度を任意に変えることが可能です。

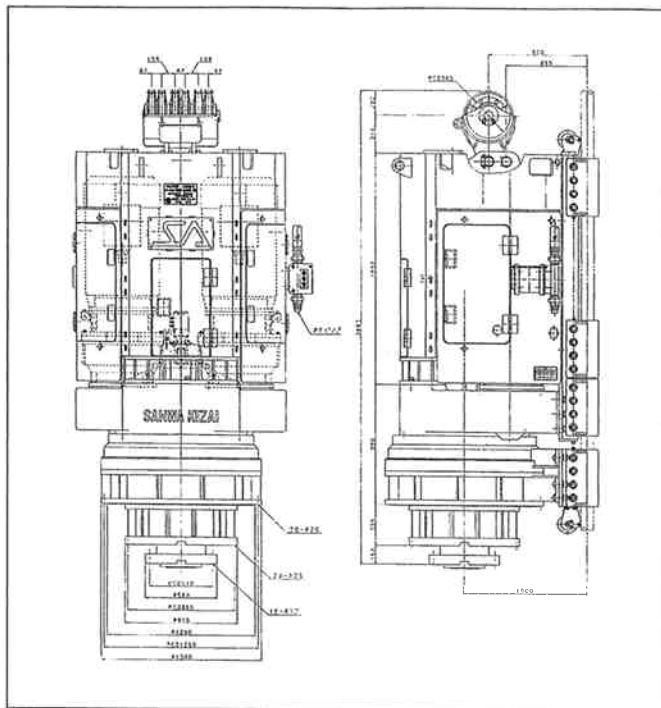
最適な回転速度が得られるため、使いやすく、掘削効率がアップし、工期短縮など経済性の向上にも貢献します。インバータ運転時のトルク低下がありません。



■特長

- ①オーガ出力軸の回転速度を低速～高速まで無段階に変速可能です。無段階変速時に掘削トルクの低下はありません。インバータ制御専用モータを搭載しており、起動から最高回転までむらなく大きなトルクを発生します。
- ②回転速度を変更できるため、さまざまな地盤・工法に対応し、適切な回転数によって掘削・排土するので効率の良い施工を実現できます。既存のSMD-240HP型に比べ、低速回転域が広がりました。
- ③2通りの運転方法を選択、商用運転とインバータ運転の切替選択によって両者の長所を生かした施工が可能です。
- ④スイベル口径は2^φ (30kgf/cm²) を標準装備しました。4^φ スイベルの搭載も可能です。

(三和機材(株) 嶋野 亨)



外形図

型 式		新機種	
		SA-SMD-240H-A3	
		スクリー側	ケーシング側
モータ		90kW×6P×2台 (400V)	
回転速度 (min ⁻¹)	50Hz	13.0	4.8
	60Hz	15.6	5.7
	インバータ運転	6.5~17.4	2.4~6.5
トルク (kN・m)	50Hz	131.92	355.34
	60Hz	110.12	296.63
	インバータ運転	131.92	355.34
質量 (t)		15.3	
寸法 (幅×高さ) (mm)		1,941×3,883	

MY TOWN

見どころ食べ処

—新潟編—

〔 景観と味覚 〕

下越平野部は、いわゆる越後平野そのものであり、ここを代表する環境としては、やはり水田地帯でしょうか。毎年、秋の初めには、写真のような頭を垂れた稲穂が一面に広がっています。

この地域の代表的な、あるいは県外の人が抱く景観のイメージとしては、はさき並木でしょうか。「はさき」とは田圃の畦に植えられた木々を指し、以前は刈り入れられたあとの稲をこのはさきに架けられた横木に架け、天日乾燥を行っていたものです。

もっとも今では、コンバインによる刈り入れで、「刈取り＝脱穀」になっているため、稲わらごと天日乾燥することはほとんどなく、機械乾燥が主流ですから、はさき並木自体は観光資源となっているのが現状です。

そんな平野部であっても、越後平野には角田弥彦山塊が海岸線



▲稲穂が一面に広がる水田地帯



はさき並木▶